

● 選考方法

選考は、下記審査委員による審査委員会にて、応募書類を基に応募者の実績、将来性を審議し、受賞者を決定します。

2008 堀場雅夫賞 審査委員会(敬称略、順不同)

名誉審査委員長 堀場 雅夫(株式会社 堀場製作所 最高顧問)
審査委員長 堀場 厚(株式会社 堀場製作所 代表取締役社長)
副審査委員長 神本 武征(東京工業大学 名誉教授)
審査委員 藤本 元(同志社大学 理工学部 教授)
大聖 泰弘(早稲田大学大学院 創造理工学研究科 教授)
手崎 衆(富山大学大学院 理工学研究部 教授)
Prof. David E. Foster, Phil and Jean Myers Professor of Mechanical Engineering,
Engine Research Center, University of Wisconsin Madison
足立 正之(President & CEO, HORIBA International Corporation)
木原 信隆(株式会社 堀場製作所 自動車計測システム統括部 自動車計測開発部部長)

● 選考結果の通知

審査結果は、応募者および推薦者に2008年7月末までにお知らせします。

● 授賞式および受賞記念セミナー

授賞式および受賞記念セミナーを、2008年10月14日(火)に京都大学芝蘭会館で実施します。あわせて受賞記念パーティーも実施します。

● 成果発信

受賞研究の内容は、本賞ホームページおよび弊社の技術情報誌(Readout HORIBA Technical Reports)を通して、世界に向けて発信します。

● 応募書類の送付先

堀場雅夫賞 事務局

〒601-8510 京都市南区吉祥院宮の東町2番地 株式会社 堀場製作所内

堀場雅夫賞 事務局

電話:075-313-8121(代) FAX:075-321-5648

E-mail : info@mh-award.org URL : http://www.mh-award.org/



Masao Horiba Awards 堀場雅夫賞

ご案内
2008

堀場雅夫賞募集に当たって

内容、性質、挙動が不明の物質を解明することは、科学者や技術者にとって大変必要なことであります。問題を解くには高度の科学、技術を駆使した分析器が必要となります。

ただ、その重要性と高度の技術を必要とする割には一般社会は勿論のこと、学界においてもその存在は大きなものではありませんでした。当賞が地味ではあるが分析の基本をより確立する学究の徒に少しでも勇気を与えてくれることを願って、皆様からの応募をお待ちしております。

堀場雅夫





2008 堀場雅夫賞

応募要領

趣意書

弊社創立50周年を迎えた平成15年、HORIBAグループは計測技術研究に従事する社外若手研究者を対象とした賞を創設しました。本賞は、画期的な分析・計測技術の創生が期待される研究開発に従事する国内外の研究者・技術者を支援するもので、これにより科学技術における計測技術の地位をより一層高めることに貢献しようというものです。賞の対象分野は、分析・計測技術の中でも堀場製作所が育ててきた原理や要素技術を中心に毎年分野を定め、ユニーク、かつその成果や今後の発展性を世界的にアピールすべき研究・開発にスポットを当ててゆきます。

2008堀場雅夫賞の対象分野は、自動車を中心とするモビリティにかかわる分析とします。なかでも、そこで使用される内燃機関に関する計測・分析技術を応募テーマに設定します。対象となる技術は、内燃機関における燃焼現象、およびそれに付随する現象、燃焼排出物、排出物後処理システムまでの広い範囲の計測を含みます。

自動車排ガス規制の歴史は、1960年代のロサンゼルスの大気汚染問題をきっかけに、1970年に米国で施行されたマスキー法にまでさかのぼります。弊社においても1964年以来、さまざまな手法による自動車排ガス分析装置を提供してきました。それから40年以上を経た現在、内燃機関の性能は格段に向上し、自動車の排ガスも非常にクリーンになっています。一方、微小粒子を含む排出物の低減、地球温暖化防止対策としての燃費向上、石油代替燃料へのシフトなど、自動車エンジンが克服すべき課題はさらに高度になってきています。このような先進の自動車開発を支える基本技術の一つとして、内燃機関に関連する燃焼計測や燃焼排出物の分析は、その重要性をますます高めています。

工業的に重要な本テーマについて、学術的基礎から応用までユニークな研究開発に従事され、分析・計測技術発展の将来の担い手となられる方の積極的な応募を期待しています。

2008堀場雅夫賞実行委員長
株式会社堀場製作所
代表取締役副社長 石田 耕三



● 趣旨

世界の大学または公的な試験研究機関において、計測およびその応用に関する科学技術分野で顕著な業績を挙げつつある研究者・技術者を奨励表彰するものです。独創的な研究開発に意欲的に取り組んでいる国内外の研究者の応募を歓迎します。

● 対象技術分野

本年度の対象技術は、以下に示す“内燃機関”に関する分析技術とします。

1. 内燃機関にまつわる計測・分析の理論や基礎に関するもの
2. 内燃機関にまつわる計測・分析に関して、先端技術分野の計測応用に結びつくもの

計測の対象としては、内燃機関における燃焼現象およびそれに付随する現象、燃焼排出物、排出物後処理システムまで広く含めます。ただし、内燃機関の種類は、自動車をはじめとする移動体(モビリティ)に使用されるものに限定します。

● 応募者資格

大学、公的試験機関に所属し、上記分野の研究・開発に従事し、以下のいずれかに該当する、研究者・技術者。

- ・上記対象分野において、学術上、技術上の優れた発見、発明を成すことが期待されること
 - ・上記対象分野において、学術上、技術上の重要な問題の解決が期待できること
- (年齢条項は設けておりませんが、本賞の趣旨に沿い、応募者の将来性を重視した審査を行います。)

● 表彰内容

本賞は、2008年10月14日(火)に京都大学芝蘭会館において授賞式を挙行し、あわせて賞状ならびに副賞を贈呈します。なお、副賞は、初年度に1件当たり50万円の賞金を授与し、さらに受賞翌年と翌々年にそれぞれ同額の助成金を支給します。なお、本賞ならびに副賞の授賞は、授賞式に出席し、応募研究を公表できること、ならびに上記の応募資格を有している事を条件とします。

● 応募

- 1) 応募方法 堀場雅夫賞応募用紙に所定事項を記入のうえ、当該研究開発に関連する論文(最大3編)、推薦書を添えて堀場雅夫賞事務局まで提出してください。応募用紙の英語記入ページ(6/6)も必ず記入してください。応募用紙と推薦書は原本およびコピーを7部、関連論文は別刷を計8部同封してください。(応募用紙は、本賞ホームページ<http://www.mh-award.org/>よりダウンロードして頂くか、堀場雅夫賞事務局へご請求ください。)
- 2) 推薦人 応募者が所属する大学や試験研究機関の長、あるいは相当者とします。推薦人は、推薦の理由を客観的に記述してください。
- 3) 技術資料 応募者は、応募の対象とする研究開発の概要を書いた資料および、関連する論文などの技術資料(可能な限り英文のもの)を所定の堀場雅夫賞応募用紙・推薦書とともに提出してください。

● 応募締切

2008年5月30日(金) 堀場雅夫賞事務局必着